

# ガラスフィルム施工要領

ガラスフィルムの施工に関わる要領・仕様については、次の通りです。ご理解・ご了承頂きますよう、お願い申し上げます。

## 【施工環境のご提供】

作業スペース…資材や道具の置き場スペース、切り出しスペースとして、2畳程度のスペースをお貸し下さい。

施工スペース…窓ガラスの前、1メートル程度のスペースが必要です。

\*家具などの移動を行います。高価な物・触れてはいけない物は、施主様にて移動をお願い致します。

**ペットについて**…作業エリアからの退避・隔離をお願いします。カッターや工具などの危険物がございます。

## 【貼付施工方法】

一般フィルムは室内側より水貼り施工を行います。貼付前に窓ガラスの水洗い清掃を行います。

\*ガラス窓枠をはじめ周囲において水濡れ防止の養生を行います。完全には防止し兼ねる場合があります。

\*窓が木枠の場合、枠内側にテープでの養生保護を行います。塗装の劣化状況に関して木枠の表面が「ささくれ」状態や、塗装が剥げる状態等になる場合があります。

○水貼り施工に伴い十分注意して施工してまいります。あらかじめご承諾下さいませようお願い致します。

凹凸ガラス用フィルムは、乾式工法です。水貼り施工ではございませんが、施工前の清掃にて水洗いいたします。

## 【施工手順】

養生 → 清掃 → 貼付 → カット → 水抜き → 仕上げ → 片づけ

\*窓ごとに、この繰り返し作業となります。

\*施工箇所における時間帯や順番がございましたら、お申し出下さい。



## 【標準施工仕様】

フィルムとサッシの隙間が必要。間隔は3mm以内となっております。水抜き・乾燥のための、必要な隙間です。

\*できるだけ少間隔で施工をするようにしていますが、フィルムの厚さやサッシやビートの形状により多少異なります。

フィルム貼付後の外観・クオリティーは、3m離れたところからの目視により異常がないこととなっております。

\*特にチリゴミや空気中の浮遊物などが、毛細管現象や静電気現象で混入することがあります。

\*目立つ物は排除する様にしていますが、些細な物を取るためにフィルムを開け、さらに悪化することがあります。

○工場生産と違い生活現状での施工ですので、仕様に従いより良い状態で納めるようにしていますことをご理解下さい。

## 【フィルムの完全乾燥期間】

フィルムの貼付に際して使用される専用フィルム溶液が完全乾燥するには、ある一定の期間が必要です。

0.05 mm～0.10 mm…1～2ヶ月      0.20 mm～0.35 mm・0.40 mmまで…2～3ヶ月

\*但し、季節や天候、陽当たり等の条件により、多少長短が生じます。

防犯フィルムの効力は完全乾燥をもって100%となります。

\*貼付直後はほぼ0%ですが、約2週間くらいである程度の効力を生じます。

## 【乾燥期間におけるフィルム現象】

**霧や曇りの現象**…残っている水分が蒸発した様な霧や曇りが現れることがあります。

\*乾燥と共に消え、透明になります。(完全乾燥期間内)

**水泡レンズ現象**…乾燥の遅いところに水分が集まり、レンズの様に見えるコイン程度の水玉ができることがあります。

\*乾燥に伴い小さくなり、いずれ消滅しますのでご心配はいたしません。大きさにより3ヶ月以上かかるものもあります。

○消滅するまでの間見栄えが悪くなりますが、フィルム性能には支障がございませんのでご了承下さい。

\***特殊フィルムの現象**…サンゲツ GF-1720・1721・1740・1741 など、フィルム自体に凹凸があるフィルムに関しては、施工後に水泡・気泡が残り、浮き現象が生じ場合があります。またカット面4辺は、凹凸によりまだらな浮きが生じます。フィルム自体の特性による現象ですので、ご了解いただきますよう、お願い申し上げます。